

令和 3 年度使用
中学校教科用図書
選定資料

岡山市教科用図書選定資料 教科（国語） 種目（国語）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 話合いの話題や方向を捉えて相手が伝えたい内容を正確に聞き取ったり、文章の構成や展開、表現の工夫を捉えて内容を正確に読み取ったりする力に課題がある。
- ② 複数の情報から、目的に応じて必要な情報を取り出したり関連付けたりして自分の考えをもち、その根拠を明確にして伝えることに課題がある。
- ③ 語彙に乏しいため、思考を深めたり、自分の思いや考えを適切に表現したりするところに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
2 東 書	<p>○ 書く活動では、目標を確認し、提示された問いを意識しながら、自ら考えて学習に取り組めるようになっている。また、聞く活動については、例えば、「メモをとる」「自分の考えと比べる」「評価する」など、様々な聞き方を段階的に身に付けることができるような言語活動が設定されている。</p> <p>○ 新出漢字が脚注に音訓とともに大きく示されていたり、「他教科で学ぶ漢字」で、社会、数学、理科、技術・家庭、保健体育の重要語句が取り上げられていたりするなど、生徒が既習した語句を意識して実生活や他教科で活用することができるよう配慮されている。</p> <p>○ 文章とともに印象的な図や写真が掲載されていたり、本編の後に「話すこと・聞くこと」「読むこと」「書くこと」の三領域における基礎的な力を育成するための「基礎編 学びを支える言葉の力」が設けられていたりするなど、生徒の学習意欲を高めたり、理解を助ける工夫がなされている。</p>	<p>1年 P. 54～57 2年 P. 46～49 2年 P. 64 3年 P. 52～55</p> <p>1年 P. 14～21 1年 P. 171 2年 P. 52, 150 3年 P. 28, 152</p> <p>3年 P. 137～140 3年 P. 189～192 1年 P. 225～249 2年 P. 229～253</p>
15 三 省 堂	<p>○ 「読み方を学ぼう」を設け、中学校で身に付けさせたい読み方（読みの方略）を系統的に配置することで、さまざまな文章を正確に読み解き、深く読み味わう経験を段階的に積み上げていけるよう工夫されている。</p> <p>○ 各教材の「学びの道しるべ」に、「思考の方法」のコーナーを設けるとともに、巻末に一覧にして掲載することで、「順序立てる」「比較する」「抽象化する」「関連づける」といった方法を理解し、それを活用して考えをもち、広げ、深めることに、継続して取り組んでいけるよう工夫されている。</p> <p>○ 教材の終わりに「語彙を豊かに」というコーナーが設けられ、教材に出てきた言葉の関連語が掲載されており、そこに取り上げられている言葉の意味調べや、それらを使っの短文作りといった活動を、辞書の引き方の学習と関連させたり、家庭学習などの自主的な学習で活用したりできるよう工夫されている。</p>	<p>1年 P. 161 2年 P. 174 3年 P. 178</p> <p>1年 P. 178 2年 P. 128, 216 3年 P. 30, 302</p> <p>1年 P. 29 2年 P. 191 3年 P. 55</p>
17 教 出	<p>○ 『持続可能な未来を創るために』という単元では、第1学年の「プロローグ」から第3学年の「エピローグ」まで系統立てて掲載し、生徒にとって身近な話題から、地球の未来について考えるといった内容まで、視点が広げられており、自らの生き方を振り返ったり、最適解を求めたりする活動ができるよう工夫されている。</p> <p>○ 古典学習の導入において、昔話などの伝承に触れられていたり、巻末に、授業で扱う古典教材の別場面が掲載されていたりするなど、生徒の古典に対する興味や関心を高める工夫がなされている。また、全学年にSDGsの視点で現代的な課題を取り上げた教材が配置され、生徒が国際社会の発展について考えることができるようになっている。</p> <p>○ 第1学年の教材では、「比較する」「関係づける」「論理の展開を捉える」「評価する」といった言語活動ごとに、身に付けさせたい表現例を「学びナビ」の中で示すことで、段階的に論理的思考の育成を図ることができるよう工夫されている。</p>	<p>1年 P. 76～85 2年 P. 94～103 3年 P. 220～229</p> <p>1年 P. 110～113 1年 P. 296～297 2年 P. 310～311 1年 P. 172～176 2年 P. 84～85 3年 P. 76～78</p> <p>1年 P. 41, 47</p>

38 光 村	<p>○ 主体的に聞く力を育てる教材「聞き上手になろう」を全学年にわたって系統的に配置し、「聞く力」を軸に「話すこと」「話し合うこと」の活動が充実するよう工夫されている。また、巻末の「語彙を豊かに」では、系統立てられた語彙表が収録されており、言葉の意味や用法に関心をもったり、推敲時に活用して語感を磨いたりすることができるよう配慮されている。</p>	<p>1年 P. 116 2年 P. 112 3年 P. 114 1年 P. 300～301 2年 P. 296～297 3年 P. 284～285</p>
	<p>○ 同じテーマの異なる文章を比較して論理の妥当性を吟味したり、評価したりできる教材を用意することで、読み比べることや視点を変えて読むことの価値に気づき、複数の情報を関連付けて自分の考えをもったり、表現の工夫をとらえて評価したりする力が確実に身に付くよう工夫されている。</p>	<p>2年 P. 170～183 3年 P. 64～68 P. 124～129</p>
	<p>○ 「読むこと」の教材では、パンフレット、取扱説明書などの実用文や新聞記事、ウェブサイトなどのメディアの文章など、授業での学びを日常生活でも活かそうとする意欲を喚起させる多彩な教材が取り上げられている。「書くこと」の教材でも、案内文、レポート、ガイドブック、手紙や電子メールといった実用的な内容が扱われており、相手や目的に合わせて情報を選び、分かりやすく伝える方法を考えたり、ふさわしい通信手段を選んだりするなど、実生活で役立つ学習ができるようになっている。</p>	<p>2年 P. 188 3年 P. 62～63 1年 P. 118～120 P. 138～143 2年 P. 34～37 P. 114～116</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科(国語) 種目(書写)

【岡山市の子どもの課題】

- ① 漢字、仮名の字形を整えて、文字を書こうとする意識が低いことに課題がある。
 ② 手書きで文字を書く機会が減っている現状もあり、学習したことを目的に応じて、日常生活に生かすことに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
2 東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「確かめよう」では、基本的な技能がイラストや動画で分かりやすく示されており、基礎基本の定着につながるようになっている。 ○ 書写が学校生活の中で役立つ場面が例示されていたり、「書写活用ブック」に書写と実生活等との関わりが取り上げられたりしている。 ○ 「見つけよう」に、文字を書く目的に応じて、どのようなことに工夫をすればよいかを、考えやすくなる視点が示されていたり、「文字のいずみ」という、書写と伝統・文化との関わりについて幅広く取り上げられているコラムが、各学年複数回掲載されていたりすることで、生徒が学習に対する目的意識や興味をもちやすくなるよう工夫されている。 	P. 32, 50 P. 3 書写活用ブック P. 1～9 P. 22, 86 P. 28～29 P. 84～85
15 三 省 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「書き方を学ぼう」には、学習のポイントが視覚的に分かりやすく示され、基礎基本の定着につながるようになっている。 ○ 学習したポイントを他の文字の場合、どこに注意すればよいかを、自ら考え話し合いを進められるよう工夫されている。 ○ 教科名や数字、アルファベットなど生徒が日頃よく使用する文字や、活字と手書き文字との違いや筆順の原則など、実生活への活用が図られている。 	P. 28, 58 P. 15, 38 P. 31 P. 24～25 P. 46～47
17 教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「何を、どのように、誰に、何を使って書く」という、目的意識をもって書くことの大切さが示されたり、学校生活に生かすことができる内容が取り上げられていたりしており、実生活の場面への活用がしやすくなっている。 ○ 字形や筆順が分かりやすくまとめられており、補充的な学習や発展的な学習につながるようになっている。また、写真による例示が豊富で、学習内容のイメージを捉えさせやすくするよう工夫されている。 ○ 表紙に、「いろは歌」や「竹取物語」がデザインされていたり、「コラム」で日本建築と書の間わりについて取り上げられたりしており、日本の伝統や文化について理解を深めることができるようになっている。 	P. 4, 36～37 P. 20～21 P. 34～35, 41 表紙 P. 80～81
38 光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「やってみよう」のコーナーでは、文字を書く速さを変えたり、タイトルをデザインしたりする活動が取り上げられ、生徒自らが考えて取り組むことができるように工夫されている。 ○ 硬筆練習用の冊子「書写ブック」が付録となっており、日常に役立つ書写の様式が項目ごとに紹介されている。 ○ 「季節のしおり」のページでは、古典文学を書き写す欄が設けられており、書くことで短歌や俳句等を味わうことができるよう工夫されている。 	P. 52～53 P. 84～85 書写ブック P. 64～65 P. 90～91 P. 106～107

岡山市教科用図書選定資料 教科（社会） 種目（地理的分野）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 複数の資料から、必要な情報を読み取り、考えたことを説明することに課題がある。
 ② 資料から読み取った内容を基に、社会的事象の特色や意味について比較したり、関連付けたりすることに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
2 東 書	○ 情報を集めたり、読み取ったり、まとめたりするといった地理の学習を進めるうえでの基礎的・基本的な技能を身に付けることができるコーナーとして、「スキル・アップ」が32箇所記載されている。	P. 13, 279
	○ 「みんなでチャレンジ」では、対話的な活動につながるような投げかけがされたり、思考ツールで考えをもちやすくする工夫がされたりしており、言語活動の充実に向けた配慮がされている。	P. 21, 31
	○ 単元の終わりに「もっと地理」や「資料から発見！」のコーナーが設けられており、生徒が学習した内容を違う視点で捉えることで学びを深めたり、資料を活用する力を高めたりすることができるようになっている。	P. 71, 134
17 教 出	○ 見開きページのタイトルに、学習内容についてイメージを膨らませる主題と、学習事項を端的に示した副題、学習課題が掲載されており、生徒が学習の見通しをもったり考えをまとめる際のヒントとして活用できるようになったりしている。	P. 88～89
	○ 巻頭でSDGsについて触れるとともに、世界の諸地域の学習を行う中で各地域の地球的課題との関わりについて考えられるようになっており、国際社会の平和と発展に寄与する態度の育成が図られるようになっている。	IV P. 83
	○ 「地理にアプローチ」では、小学校で学習した地図のきまりや地図帳の使い方、人口ピラミッドなどを振り返る活動を取り上げており、中学校の地理の学習のスタートを効果的に進められるよう工夫されている。	P. 6～8
46 帝 国	○ 「技能をみがく」では、地理的分野の学習を進めていくうえで求められる地図や写真の読み取り方などの技能が23のテーマに渡って取り上げられており、地理学習の基礎基本の確実な定着につながる工夫がなされている。	P. 5, 27
	○ 「地理的な見方・考え方」が端的に説明され、章末、節末の「章（節）の学習を振り返ろう」では、見方・考え方を意識して学んだことを振り返ることで自分の考えをもち表現することができるようになっている。	巻頭7 P. 13, 129
	○ 巻頭でSDGsに該当する事例を取り上げ関心を高める工夫がなされている。また、地理的分野の学習に必要な用語について、同一ページに「解説」のコーナーを設け、図版や写真を添えて視覚的にも理解が深まるように工夫され、学習を効果的に進めることができるようになっている。	巻頭1, 2 P. 174, 231

	<p>○ 学習内容の理解を深めるため、地理的な見方・考え方を働かせる問いを「深めよう」コーナーとして設け、習得した知識を活用させることで、思考力・判断力・表現力等の向上を図ることができるよう工夫されている。</p>	P. 13, 217
116 日 文	<p>○ 「チャレンジ地理」や「自由研究」では、イギリスのEU離脱問題や東京オリンピック・パラリンピック、ハザードマップなど様々な話題が取り上げられており、生徒が多面的・多角的に考え、自主的な学習が促されるよう工夫されている。</p>	P. 70, 151, 232
	<p>○ 見開きの左側に「学習課題」や「見方・考え方」、右側に「深めよう」や「確認」が配置される構成となっており、学習の流れが分かりやすくなっている。</p>	P. 140～141 174～175

岡山市教科用図書選定資料 教科（社会） 種目（歴史的分野）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 個別の知識や、資料から読み取ったことを関連付けて、意味や特色について考えたり表現したりすることに課題がある。
- ② 歴史を身近に感じて学ぶことの面白さを実感したり、歴史を学ぶ意義を理解したりしながら学習に取り組むことに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
2 東 書	○ 「まとめの活動」では思考を整理する多様なツールを提示することで、主体的に思考・判断した内容を適切に表現する力が身に付くよう工夫がなされている。	P. 96～97 P. 146～147
	○ 本文見開き2ページごとに、確認のための「チェック」と発展的な学習のための「トライ」が設定され、家庭学習においても学習意欲が喚起されるようになっている。	P. 78～79
	○ スケール年表が各ページ左下に配置されることで、歴史の流れをすぐ確認でき、授業にスムーズに入ることができるようになっており、生徒にとって教科書が扱いやすく利用しやすい工夫がなされている。	P. 120
17 教 出	○ 「歴史の技」や「読み解こう」では、資料活用の方法や手順を示したり、資料を読み解く視点を問いの形で示したりすることで、歴史学習に必要な基礎的な技能や表現力の育成ができるように、工夫されている。	P. 41, 188
	○ 生徒が主体的に調査計画を立て、自分たちの地域や歴史との関わりを意識しながら学びを展開できるよう、学習の進め方が具体的に示されている。	P. 10～16
	○ 目次が見開きに納められ、見やすく提示されている。また、章ごとに色分けされた表示が本文にも反映されており見やすくなっている。また、「歴史すごろく」によって、小学校で学んだ歴史の流れを振り返ることができるよう工夫されている。	巻頭Ⅲ～Ⅳ P. 2～3
46 帝 国	○ 「タイムトラベル」では、前の時代と比較することができるイラストと、それを見る視点が示されており、歴史的な見方・考え方を働かせて時代の特色をつかむことができるように工夫されている。	P. 24～25
	○ 各章末には「章の学習を振り返ろう」が配置され、章の学習で得た知識を生かし、歴史的な見方・考え方を働かせながら、章の問いに対して思考・判断・表現する課題が示されている。また、一つの事象を多面的・多角的に考える活動が設定され、言語活動の充実につながるよう工夫されている。	P. 56～57 P. 144～145
	○ ページ右横には、インデックス年表が付いており、巻頭の見開きと対応させることで、今学習している時代の全体での位置を示す工夫がなされている。	巻頭1 P. 125
81 山 川	○ 写真、風刺画、グラフや表にそれぞれ発問を付し、それについて考えたり、グループで意見を交換したりすることで思考力を育成できるように工夫されている。	P. 116 P. 196～197
	○ 「身近な地域を調べよう」では、調査の順序や調査方法が「調査のスキル」として示されるとともに、「地域からのアプローチ」では複数の地域が取り上げられ、遺物や名産品、文化財などについて探究的な学習につながるような問いが用意されている。	P. 8～13 P. 46～47 P. 150～151
	○ 「現代の日本と世界」のまとめでは、現在解決すべき国際的な諸問題について自分なりの解決策を考える活動が設定されており、国際社会の平和と発展について考えることができるようになっている。	P. 283

116 日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きの左側に学習課題とその時間に働かせる社会的な見方・考え方が示されており、生徒が見通しをもって課題解決に取り組んだり、分かったことをまとめたりすることができるようになっている。 ○ 「課題例」では、示されたテーマに沿って歴史を振り返り考察できるよう、「ステップ」で課題解決のための手順を示したり、関連する資料を掲載したりすることで、探究的な活動につながる工夫がされている。 ○ 江戸図屏風が折り込みで用意され、大きな史料から情報を読み取ることができるようにすることで、歴史的事象についての興味を引き出し、学習の効果が高まっていくよう考慮されている。 	<p>P. 24～25</p> <p>P. 300～305</p> <p>P. 106～109</p>
227 青 鷗 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各章の「歴史のターニングポイント」では、各時代の大きな出来事について、様々な資料を基に詳しく掘り下げながら、生徒が、「もし、その時、私が当事者だったら」という意識で、歴史と向き合うことができるようになっており、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動が充実するよう工夫されている。 ○ 「地域の歴史を調べてみよう」では、キャラクターの会話を生かしながら地域についての興味を高め、生徒が自分の生活と自国の歴史との密接なつながりに気付いていくことができるように工夫されている。 ○ 「歴史ズームイン」では、神話、絵画、小説など幅広い分野と歴史との関わりに触れられており、生徒の学習意欲を喚起するようになっている。 	<p>P. 64</p> <p>P. 13～18</p> <p>P. 56～57 P. 146～147 P. 204～205</p>
229 学 び 舎	<ul style="list-style-type: none"> ○ 映画の題材を使った切り口で、生徒の興味を引き、歴史を今日の課題と結び付けることで、よりよい社会の実現について考えられるような内容の充実が図られている。 ○ 「歴史を体験する」では、インターネットを使った調べ学習や討論など、様々な学習の仕方について紹介することで、生徒の学習意欲を喚起できるようになっている。 ○ 年表の中に、「日本の社会・政治・経済の動き」「日本の文化・宗教」「世界の動き」の欄を大きく掲載することで、歴史の大きな流れや、出来事の関連をつかみやすくなるよう工夫されている。 	<p>P. 258</p> <p>P. 104～105 P. 178～179</p> <p>P. 282～293</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科(社会) 種目(公民的分野)

【岡山市の子どもの課題】

- ① 社会の出来事や国内外の情勢に興味・関心をもち、よりよい社会を考えるために、主体的に学んでいくことに課題がある。
- ② 政治や経済、現代社会の特色に関心が薄く、それらの仕組みを理解するための知識が身に付いていないことに課題がある。
- ③ 新聞、読みもの、インターネットなどの資料から必要な情報を見つけ出し、そこから読みとったことを基にして、多面的・多角的に考察し表現することに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
2 東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「みんなでチャレンジ」のコーナーでは、思考を整理する方法として「ウェビング」や「Yチャート」などを示し、主体的に考え・判断し、表現する力を育む言語活動につながる工夫がされている。 ○ 随所にある「インタビューコラム」には、社会に参画している人々の姿が描かれ、自らの生き方やキャリア形成について考えられるように工夫されている。また、「もっと公民」のページでは、現代的な諸課題を意識しながら学習が進められる内容となっている。 ○ 見開きに興味・関心を引き出す「導入資料」、1時間を貫く問いである「学習課題」、学習を振り返る「チェック」、発展的な学習課題となる「トライ」が構造的に示されたり、「集める」「読み取る」などのコーナーで、学習の視点や手立てが示されたりすることで、学習内容の定着を図るとともに、生徒が自主的な学習を行うことにも配慮された内容となっている。 	<p>P. 9 P. 55</p> <p>P. 67 P. 124～125</p> <p>P. 44～45 P. 48～49</p>
17 教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各章の「学習のはじめに」や章末の「学習のまとめと表現」では、資料を基に考えたり、話し合ったりすることができるようになっており、言語活動の充実や資料をもとにした情報活用能力の育成に配慮した内容になっている。 ○ 日常生活と関連の深い、身近な話題や内容が多く取り上げられるとともに、巻頭や巻末には、生徒の興味関心を喚起する写真資料が豊富に盛り込まれ、学ぶ楽しさや意欲が高まるように配慮されている。 ○ 小学校での学習内容や、中学校での歴史的分野と地理的分野の内容及び他教科、SDGsとの関連が一目で分かるようにマークが付され、項目が分かりやすく記載されている。 	<p>P. 38～39 P. 78～80</p> <p>巻頭 P. 37</p> <p>P. 14～15 P. 18～19</p>
46 帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「確認しよう」「説明しよう」で振り返りを大切にし、基礎・基本の知識及び技能が確実に習得できるような内容となっている。 ○ 「章の学習を振り返ろう」では、「見方・考え方を働かせて考えよう」というページを設け、思考力・判断力を高めるだけでなく、授業の中で意見交換の場を用意し、言語活動の充実を図る工夫がされている。 ○ 各見開きの左上に、1時間ごとの導入となる資料が設けられており、ワイドな写真から学習内容をイメージしたり、学習内容を直感的に理解できるイラストから生活との関わりを具体的にイメージしたりすることで、学習意欲を引き出すように工夫されている。 	<p>P. 7～8</p> <p>P. 64 P. 106</p> <p>P. 5～6 P. 19～20</p>

116 日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きの最初に「学習課題」、最後にそれに対応した「確認」を設けることで学習内容の理解を確かにする工夫がされている。また、「見方・考え方」で学習の手がかりを示し、課題解決に取り組みやすくなるよう配慮がされている。 ○ 日本の伝統文化の特徴や多様性ととも、グローバル化の中で世界に広がる日本の文化に触れ、我が国の伝統・文化について、理解を深めるよう配慮されている。 ○ 章ごとの「学習の整理と活用」では、「シンキングツール」が紹介されており、学び方を身に付け、学習した内容を再整理し、発展的な学習につなげることができるようになっている。 	<p>P. 8～9 P. 10～11</p> <p>P. 20～23</p> <p>P. 33 P. 175</p>
225 自 由 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎時間、見開きの最初にめあてが示され、最後に「ここがポイント」で学習内容の要点が押さえられるようになっていることに加え、随所に「ミニ知識」のコラムを設け、本文の内容の補足を行うことで、学習内容の定着がより図られるようになっている。 ○ 「もっと知りたい」では、「地方自治と防災」「年金について考えてみよう」など、実生活に深くかかわる課題を取り上げ、探究的な学習に向かう工夫がされている。 ○ 単元が通し番号で示され、生徒が公民的分野全体の学習の見通しをもちやすくなるための工夫がされている。 	<p>P. 106～107 P. 137</p> <p>P. 116 P. 154</p> <p>目次</p>
227 育 鵬 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章の最後にある「学習のまとめ」では、重要語句の確認や図やグラフを扱った設問に取り組むことで、学習内容の定着を図ることができるようになっている。 ○ 毎時間の最後に、「発表しましょう」「調べてみましょう」などの活動が提案されたり、「やってみよう」のコーナーでは、ディベートやシミュレーションなどの学習活動が用意されたりしており、言語活動の充実につながるよう配慮されている。 ○ 「学習を深めよう」のコラムは、領土問題や人権問題など、現代の諸課題を多く取り上げることで、興味・関心を高め、学習をさらに深められる内容となっている。また、他の学習単元と関連する部分には、色付きのページ番号が付され、学習を効果的に進めるための工夫がなされている。 	<p>P. 34 P. 114</p> <p>P. 11 P. 102～103</p> <p>P. 70～71 P. 188～189</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科（社会） 種目（地図）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 索引を用いて地図から必要な情報を探すことに時間がかかったり、土地の高低や距離感など空間認識を活用しながら地形を想像したりすることに課題がある。
- ② 地形と気候、土地利用、交通、人口分布など複数の地図や資料を用いて関係性や特徴を読み取ったり理解したりすることに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
2 東 書	○ 「環境・資源・エネルギー問題」、「紛争・難民問題」などの現代的な諸課題をまとめた特設ページが掲載されており、グローバルな視野から国際社会について考察することができ、日本のみならず他国も尊重する態度を養うことができるようになっている。	P. 7～14
	○ 地図や資料の見方や考え方のポイントが挿絵と吹き出しで示されており、資料から必要なことを読み取る力を高め、学びをより深める工夫がされており、生徒自身が自ら課題を見つけて解決できるようになっている。	P. 55～56 P. 94
	○ 巻末には通常の地名索引だけでなく、地形や気候などテーマごとに資料の種類やページが掲載されており、関連する資料が検索しやすいように工夫されている。	P. 186
46 帝 国	○ 世界の各州の資料に自然環境や産業などのイラストを配した鳥瞰図が掲載されたり、地図活用の技能を身に付けるためのコーナー「地図活用」が各所に設けられたりしており、生徒の学習意欲や課題意識を高めたり自主的な学習を促したりする工夫がされている。	P. 61～62 P. 136～138
	○ 各地域や地方の農業や工業、資源、人口、また日本との結び付きに特化した様々な資料が分かりやすく掲載されており、複数の資料を比較・関連付けながら考察できるようになっている。	P. 27～28 P. 87～88
	○ 地図中の色調や配色が明るく鮮明であり、図・写真ともに細かな文字まで読み取りやすく、生徒が学習に必要な情報を取得しやすいように配慮されている。	P. 45～46 P. 109～110

岡山市教科用図書選定資料 教科（数学） 種目（数学）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 途中の計算式を書くなど、解答を導くまでに、自分がどのように考えたのかという過程を、言葉や式を使って説明することに課題がある。
- ② 与えられた問題文や図、表、グラフなどから必要な情報を適切に読み取り、どのようにすれば問題を解くことができるかを筋道を立てて考えることに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
2 東 書	<p>○ 第2学年の「学びをひろげよう」に青森県の弘前公園の桜が、第3学年の章末の問題に金沢駅の鼓門が一次関数や平方根に関連した問題として取り上げられており、我が国の伝統・文化について関心が高まるよう工夫されている。</p> <p>○ 各章の導入では、身近な場面が提示されており、生徒の関心・意欲を高め、主体的な学びにつながるよう工夫されている。また、各節末の「基本の問題」には、本文の関連ページを示すことで、本文に戻って確認できるように配慮されている。</p> <p>○ 章のタイトルが章のめあてにつながるようになっており、生徒が見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。また、第1学年に0章を設定し、小学校算数から中学校数学にスムーズに移行できるよう構成されている。</p>	<p>2年 P. 90 3年 P. 67</p> <p>1年 P. 61 2年 P. 74</p> <p>1年 P. 9 3年 目次</p>
4 大 日 本	<p>○ データの活用領域の課題において、実際のデータを多く用いており、情報活用能力の育成につながるよう工夫されている。また、「Q 伝えよう」という問を所要所に設定することで、考えを伝え、理解し合う活動や説明する活動が重視される内容となっている。</p> <p>○ 「社会にリンク」と「MATHFUL（マスフル）」では、歴史、美術、音楽などの他教科や、職業と関連のある話題を豊富に取り上げ、数学への興味・関心を高めるよう工夫されている。</p> <p>○ 各章のはじめは、写真やイラストなどを使った見開き2ページの紙面で構成されており、新しい学習内容への期待感を高めるような工夫がされている。また、領域ごとに色分けされており、教科書全体において、学習のめあてや重要語句、公式、定理などのまとめがはっきり示されているなど、生徒が重点を理解しやすいレイアウトとなるよう工夫されている。</p>	<p>2年 P. 176 3年 P. 115</p> <p>1年 P. 65 2年 P. 65</p> <p>2年 P. 2～3 3年 P. 176～177</p>
11 学 図	<p>○ 節末には「確かめよう」や「計算力を高めよう」を、章末には「章のまとめの問題」を設定し、さらに「章のまとめの問題」は基本・応用・活用の三つに分類し習熟度に対応できるようにされており、基礎的・基本的な知識や技能が身に付くようになっている。</p> <p>○ 巻末の「表現する力を身につけよう」では、レポートの作成から発表までを意識したポイントや例が提示されており、表現力やコミュニケーション能力を高められるよう工夫されている。</p> <p>○ 章末に「できるようになったこと」や「深めよう」を配置したり、発達段階に即して、図、式、説明図、吹き出しなどを適切に配置したりするなど、生徒の理解の手助けとなるような構成となっている。</p>	<p>1年 P. 34～35 3年 P. 39～41</p> <p>2年 P. 220～223 3年 P. 252～255</p> <p>1年 P. 96 2年 P. 38～39</p>

17 教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「例」と「問」の間に、「例」の適用題である「たしかめ」を設けていたり、同じ間違いを繰り返さないようによく見られる間違いを「問」で取り上げていたり、基礎基本が確実に定着するよう配慮されている。 ○ 問題解決のプロセスを示したページを掲載し、自分の考えを伝え合い、みんなで解決する学習活動ができるように工夫されている。 ○ ページの右側に、「もどって確認」や「数学メモ」などを配置し、効果的に学習が進められるよう工夫された構成となっている。 	<p>1年 P. 48 2年 P. 27</p> <p>1年 P. 159～161 3年 P. 212～213</p> <p>1年 P. 78～79 3年 P. 211</p>
61 啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「章末問題 学びをたしかめよう」では、各問題の横に学習した内容と該当ページが示され、振り返って学習の確認をすることができるようになっており、学習内容の確実な定着を図ることができるように配慮されている。 ○ 学んだことを表現する「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」を設けることで、理解を深めたり、学びを広げたりする学習活動を展開できるように工夫されている。 ○ 「AEDの重要性がわかるグラフ」「魚の数を調べるには？」など、他教科と関連する内容や実生活で活用できる内容が掲載されていたり、教科書の裏表紙から始まる縦開き構成の「自分から学ぼう編」が設けられていたり、生徒の自主的な学習を支援できるように工夫されている。 	<p>1年 P. 174～175 3年 P. 86～87</p> <p>1年 P. 138～139 2年 P. 74 2年 P. 76～77</p> <p>各学年 2年 P. 72 3年 P. 214</p>
104 数研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章のはじめの「ふりかえり」で、その章の学びに関連する既習事項を振り返ったり、学びを進めていく段階でも既習事項の内容に関連したところにある「ふりかえり」のコーナーで振り返ることができるようになっていたりするなど、基礎基本を確実に定着させることができるように配慮されている。 ○ 「ぐんぐんのぼそうチャレンジ編」「探究ノート」(別冊)などで、発展的な学習に取り組むことができるように配慮されている。また、教科書内の問題だけでなく、デジタルコンテンツによる補充問題が用意されており、繰り返し問題を解くことで基本的な計算を習得できるように配慮されている。 ○ 必要に応じて使い分けができるよう本冊と別冊の2部構成になっており、別冊を運用する場面を本冊に示すことで効果的なタイミングで活用できるよう工夫されている。 	<p>1年 P. 14 3年 P. 62</p> <p>2年 P. 207～227 3年 P. 247～283 探究ノート</p> <p>2年 P. 64 3年 P. 163</p>
116 日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学术語を使って表現できるように、具体例を「表現の例」として示したり、適宜「話し合おう」「説明できるかな？」などを設定したりすることで、生徒同士の対話的な学習を通して、数学を活用する態度の育成を図ることができるように工夫されている。 ○ 美術作品や我が国の伝統工芸品などに見られる数学的な美しさや、数学を生かして働く人のコラムを全学年で載せており、他教科との関連や数学と科学技術等との関連性を意識できるような工夫がされている。 ○ 原則として見開き2ページが1時間の授業内容となっており、「めあて」が配置され、生徒にとって授業の見通しがもちやすい構成になっている。また、タイトルのついた「例」をきめ細かなステップで設定しており、基礎基本が確実に定着するよう工夫されている。 	<p>2年 P. 101 3年 P. 98</p> <p>2年 P. 192～193 3年 巻頭見返し 3年 P. 214～215</p> <p>1年 P. 16～17 2年 P. 18, 19</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科（理科） 種目（理科）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 身の回りの科学的現象について、学習した内容を系統立てて考え、表現することに課題がある。
 ② 観察や実験の結果から、科学的な根拠を基に話し合い活動を進めていくことで新たな情報を見出すことに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
2 東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各節で課題が明記されており、その課題に対する結論を「課題に対する結論を表現しよう」で、生徒自らがまとめられるようになっている。また、章末には結論の例文が示されており、学習内容を整理しやすくなっている。 ○ 「調べ方を考えよう」では、具体的な着目点がコメントとして明示されており、生徒が実験方法を自ら考え学習に取り組むことができるようになっている。 ○ 教科書のサイズがA4スリム判で、視線の移動が少なくなるように構成されている。また、実験や観察の手順が縦に並べられており、注意事項が確認しやすくなっている。 	2年 P. 30～31 P. 34 3年 P. 222 1年 P. 86 3年 P. 30 1年 P. 31 3年 P. 59
4 大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章末には「章末問題」、単元末には「まとめ」、「単元末問題」が掲載されており、基本的な知識の定着を図るとともに、「読解力問題」で学びを深めることができるようになっている。また、「まとめ」では、重要用語が「キーワード」として示されており、復習の際に確認できるようになっている。 ○ 各所にキャラクターの吹き出しが掲載されており、その内容を参考にしながら自らの考えをまとめ、他の生徒と話し合う中で、自分の考えを再構築することができるようになっている。 ○ 「日本を知る」では、万葉集や陶芸と理科との関わりが紹介されており、生徒が我が国の伝統や文化について理解を深めることができるようになっている。 	1年 P. 262～266 3年 P. 181 1年 P. 260～261 2年 P. 97～98 1年 P. 71 2年 P. 49
11 学 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「理科のトリセツ」では、「探究の進め方」や「授業を受けるコツ」などが分かりやすく示されており、基礎基本の定着が図られるよう工夫されている。また、探究の過程が図や写真、コメントなどで分かりやすく示され、学習したことを系統立てて考えることができるようになっている。 ○ 章始めの「Can-Do List」では各章でどのような力を付けるのかを明確に確認でき、生徒が見通しをもって主体的に学習できるように配慮されている。また、章の終わりには、「Can-Do List 自己チェック」が設けられており、何ができるようになったかを振り返ることができるようになっている。 ○ ホワイトボードのように何度も書き込んで消すことができる「学びの交換-アイデアボード」が巻末に設けられており、自分の考えを表現したり、話し合い活動を活発に行ったりできるよう工夫されている。 	各学年巻頭 2年 P. 99～102 1年 P. 166, 183 3年 P. 170, 180 各学年巻末
17 教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「やってみよう」で、疑問につなげる活動を提示し、生徒が自ら課題を見出し、仮説や計画を立てることができるよう工夫がされている。 ○ どの単元（領域）においても、巻頭に示されている「探究の進め方」を見開きで確認しながら、探究的に学習を進められるように配慮されている。 ○ 各単元末の「要点と重要用語の整理」では、紙面右側に配置された重要用語をノートなどで隠しながら、穴埋め形式の問題で確認できる工夫がなされており、家庭学習に取り組みやすくする配慮がされている。 	1年 P. 228 3年 P. 45 2年 P. 32～33 3年巻頭⑤～⑦ 1年 P. 148～149 2年 P. 222～223 3年 P. 182～183

61 啓 林 館	<p>○ 実験のページでは「目的」「方法」「結果」「考察」の過程が1本のラインで1ページに示されている。また、結果から何を導き出すのか明確に示され、次のページに分かりやすく表記されているため、生徒が系統立てて学べるようになっている。</p>	<p>1年P. 173～174 3年P. 113～114</p>
	<p>○ 単元末の「みんなで探Qクラブ」では、習得した知識・技能を活用して身近な疑問を探究する課題が提示され、学びが深まる内容になっている。また、働かせたい理科の見方・考え方が具体的に例示されており、学習過程を通して科学的に探究する力が育つよう工夫されている。</p>	<p>2年P. 208～209 3年P. 98～99</p>
	<p>○ 巻末には「探Q実験」に対応した「探Qシート」がついており、自分の考えを書き込みながら学習をより効果的に行うことができるようになっている。また、実験や観察に対応したグラフや表があるため、データを科学的に処理して考察できるように工夫されている。</p>	<p>各学年巻末 2年P. 197～199</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科（音楽） 種目（一般）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 音楽によって喚起された自己のイメージを、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図りながら歌い試してみたり、思いや意図をもったり表現したりすることに課題がある。
- ② 音楽用語や記号の意味及び役割を理解し、楽曲の構造と結び付けて音楽表現に生かすことに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
17 教 出	○ 「〇〇を作ろう」では、生徒が興味をもって取り組めるような課題を段階的に設定しており、活動手順に沿って進めることで創作の基本を身に付けながら創意工夫できるようになっている。	1年 P. 32～33 2・3年下 P. 24～25
	○ 「ACTIVE!」では、表現と鑑賞の具体的な学習活動の例とともに、キャラクターのアドバイスや説明が示されており、言語活動の活性化につながるような工夫がされている。	2・3年上 P. 9 2・3年下 P. 31
	○ 「学びのユニット」では、学習活動のねらいや学びの手がかりとなるヒントが示されたり、「うたう」「つくる」「きく」のユニットに分けられたりしており、生徒が学ぶ内容を確認しながら学習できるようになっている。	1年 P. 4～5
27 教 芸	○ 各学年の「My Voice!」のページでは、歌唱に必要な基礎的な技能や知識が段階的に示されている。また、2・3年下では、1、2・3年上の学習内容を踏まえた総括的な内容となっており、3年間を通して基礎基本の確実な定着が図れるようになっている。	1年 P. 14, 15 2・3年下 P. 19
	○ 「深めよう！音楽」では、各自が「聴き取ったこと」と「感じ取ったこと」を書き入れた後、話し合う活動が取り入れてあったり、曲を形づくっている主要素が示されていたりするなど、曲を分析したことを基に、友達と意見を交流しながら表現の工夫につなげることができるように工夫されている。	1年 P. 47 2・3年上 P. 22～23
	○ どの学年にも「生活や社会の中の音楽」のコーナーがあり、アウトリーチや音楽に関わる仕事が必要な写真や図を用いて分かりやすく紹介されており、身近な音や音楽が様々な役割を果たしていることを生徒が意識的に考えられるような工夫がされている。	2・3年上 P. 72 2・3年下 P. 68～69

岡山市教科用図書選定資料 教科（音楽） 種目（器楽合奏）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 様々な器楽表現を試しながら工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、技能を高めようとしたりすることに課題がある。
- ② 音楽用語や記号の意味及び役割を理解し、楽曲の構造と結び付けて器楽表現に生かすことに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
17 教 出	○ ギターの右手の使い方と左手の運指のポイントが、段階的に写真や図で示され、生徒自身が自分の手と見比べながら練習できるようになっていたり、押さえやすいコードの曲から取り組めるようになっていたりしており、基本的な技能を身に付けることができるような工夫がされている。	P. 30, 32
	○ 「何が同じで、何が違う？」のコーナーでは、これまで自分が学習してきた楽器を基に、同じ「吹く楽器」や「弾く楽器」から、共通点や相違点を見つけることができるような課題設定となっており、気付きを基に話し合う言語活動に取り組みやすい工夫がされている。また、見開きで関連する世界の楽器が紹介されており、楽器の多様性や共通性について発展的に考えられるようになってきている。	P. 26, 52
	○ 楽器の背景にある文化や伝統について調べる発展的な内容が取り入れられたり、「名曲旋律集」では歌唱及び鑑賞教材とリンクした楽曲が多く取り上げられたりしており、生徒の学びを深められるようになっている。	P. 27 P. 96～97
27 教 共	○ リコーダーのタンギングの発音の使い分けや音の響かせ方、音を合わせるときのコツが示されたり、QAに生徒の疑問に答える形で注意点が示されたりしており、生徒自身が繰り返し確かめながら練習することができるようになっている。	P. 18～23
	○ リズムやメロディーに特徴があり、生徒になじみ深い魅力的な曲が掲載されており、生徒の学習意欲を喚起する工夫がされている。	P. 80～81
	○ 3年間に学ぶ学習内容について題材と音楽を形づくっている要素との関連が分かりやすく色分けして示されており、見通しをもって学習に取り組んだり、視点を明確にして学習に取り組んだりできるようになっている。	P. 8～9

岡山市教科用図書選定資料 教科（美術） 種目（美術）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 自らの感性や想像力などを働かせて発想・構想したり、表現したりすることに自信がもてないことに課題がある。
- ② 伝統工芸に触れたり、そのよさを理解したりする機会が少ないことに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
9 開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「美術の用語」として随所に専門用語が解説されているため、生徒の基礎基本の確実な定着を図ることができるようになっている。また、QRコードから教科書以外の参考作品例を閲覧し、技法や知識を習得できるようになっていたり、全国や世界の美術館のホームページを閲覧し、生徒の探究的な鑑賞活動に応えることができるようになっている。 ○ 学習を深めるための「学習のポイント」を設定し、発想や構想を広げたり、問題解決したりできるように工夫されている。 ○ 「日本らしさ」を鑑賞の中心的課題に据えた題材を14ページにわたって設け、絵巻物や浮世絵など、日本の文化を系統的に学習することができるようになっている。 	<p>1年 P. 60 2・3年 P. 102～103</p> <p>1年 P. 39 2・3年 P. 60</p> <p>2・3年 P. 38～51</p>
38 光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「みんなの工夫」には生徒の制作過程が詳しく紹介されていたり、巻末の「学習を支える資料」で、具体的な用具や技法が豊富に取り上げられていたりすることで、基礎基本の定着につながるようになっている。 ○ 発想を広げるための具体的な手立てが示されたり、情報機器を使った表現が豊富に掲載されたりしており、生徒自身の表現に生かすことができるよう工夫されている。 ○ 47都道府県の伝統工芸や伝統工芸と暮らしとの関わりが取り上げられ、日本の伝統文化への理解を深め、親しみをもって授業に取り組むことができるよう工夫されている。 	<p>1年 P. 58～81 2・3年 P. 58</p> <p>2・3年 P. 76～81</p> <p>1年 P. 54 2・3年 P. 97～98</p>
116 日文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 技法・色彩・鑑賞で分類された「学びを支える資料」が掲載され、デジタルコンテンツと紙面とを併用できるようになっている。また、形や色彩、材料などへの意識を促す「造形的な視点」を示すことで、対話的な学習が生み出されるよう工夫されている。 ○ 「社会に生きる美術の力」では、美術の学びが人生や生活に大きく関わることが示され、生徒へ実生活での活用を促すことができるようになっている。 ○ 原寸大の図版が多く取り入れられており、生徒の学習意欲を喚起することができるようになっている。また、身近な題材や幅広いジャンル、社会や環境と関わりのある題材などが、発達段階に応じて3冊の分冊にダイナミックな資料とともに掲載されており、各学年の学びを深められるように配慮されている。 	<p>1年 P. 58～75 2・3上 P. 12～13 2・3下 P. 36～37</p> <p>2・3年下 P. 58～59</p> <p>1年表紙 2・3年下 P. 44～45</p>

【岡山市の子どもの課題】

- ① 学習内容を振り返り、理解を深めていくことに課題がある。
 ② 学習した内容を基に発展的な学習に取り組んだり、学習した内容を実生活に生かしたりすることに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
2 東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習課題の解決に向けて、資料を基に考えたり、話し合ったりするための発問が掲げられ、知識や技能の確実な定着につながるようになっている。 ○ 「見つける」では、日常経験や小学校で学習したことを基に考えたり、「活用する」で習得した知識を基に考え、表現したりできるようになっている。 ○ 学習課題や資料が見開き2ページ内に順に示されており、1単位時間に学ぶべきことや「見つける」「課題の解決」「広げる」という主な流れが一目で把握できるよう配慮されている。 	<p>P. 104</p> <p>P. 112～113</p> <p>P. 6～7</p>
4 大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図やグラフ、絵、写真などの資料やキーワードが示されたり、「学習のまとめ」で重要な言葉が確認できるようになったりしており、知識の確実な定着が図られるように工夫されている。 ○ 「活用して深めよう」では、学習した内容を自分の生活に当てはめて考えられるようになっている。また、「学びを活かそう」では、学習した内容や資料を活用し、自分の考えを書き出したり、他者に伝えたりする力を養うことができるようになっている。 ○ 1単位時間見開き2ページを基本構成とし、左側ページに文章・トピックス、右側ページに資料を掲載した構成になっており、本文と資料を明確に分けることで、学習内容の要素が見やすくなるように工夫されている。 	<p>P. 104～109 P. 117</p> <p>P. 5 P. 87</p> <p>P. 16～17</p>
50 大 修 館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の文章内に「資料①」、「コラム」などと着色されて目立つように書かれており、資料の図表を確認しやすくなっている。また、各章末にある「章のまとめ」は、具体的なテスト形式になっており、基礎的な知識の確実な定着を図ることができるようになっている。 ○ 「特集資料」では、自分たちの生活の中で起こりうる事例が挙げられ、授業で学んだことを振り返り、実生活に生かすための学習が可能になっている。 ○ 章の扉のページでは、今後の学びについて自分自身の生活との関連について考えることができるようになっていたり、小・中・高の学習内容が示され内容のつながりを確認できるようになっていたりしている。 	<p>P. 106～107 P. 94～95</p> <p>P. 70～71</p> <p>P. 28～29</p>
224 学 研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「もっと 広げる 深める」では、自分たちの生活の中で起こりうる事例が挙げられたり、実習に取り組むことができるようになったりしており、実生活との関連が図られている。 ○ 「探究しようよ！」では、オリンピックとパラリンピックについて詳細な記述があり、これらの大会の成り立ちや、世界平和に対する願いを知ることができるようになっている。また、日本におけるオリンピック・パラリンピックの歩みを時系列にまとめ、我が国のスポーツ文化についても理解を深めることができるようになっている。 ○ 保健体育に関わる職業や資格が見開きで紹介されるとともに、学習内容に関する職業が該当ページに掲載されており、キャリア教育の視点でも活用ができる構成になっている。 	<p>P. 100～101</p> <p>P. 144～147</p> <p>P. 2～3</p>

【岡山市の子どもの課題】

- ① ものづくりや生物育成などの経験が乏しく、技術と社会や環境との関わりについて考えを深めにくいことに課題がある。
- ② タブレットやスマートフォンなどの使用について、知識・技能が偏っていたり、情報モラルやセキュリティ、著作権や個人情報などへの理解や配慮が不十分であったりすることに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
2 東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各編で、問題の発見と課題の設定を明確にした基本題材と、五～八つの問題解決例を配列し、実生活の場面への活用や、探究的な活動を促すよう配慮されている。 ○ 生徒の関心を高められるように、世界に貢献してきた技術の歴史や製品とともに、技術者のメッセージが「技術の匠」として紹介されており、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮されている。 ○ 各編2章の「問題解決」では、「問題の発見、課題の設定」「設計・計画」「制作」「評価、改善・修正」「新たな問題の発見」という「問題解決のプロセス」にそった内容構成となっている。 	<p>P. 38～39 P. 68～75</p> <p>P. 8～10 P. 81</p> <p>P. 222～235</p>
6 教 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 項毎に「見つける」「学ぶ」「ふり返る」の三つのステップで学習に取り組むことで、基礎的な内容の定着を図ることができる配列となっている。また、「やってみよう」では、生徒が自分の考えをもったり、グループで話し合ったりすることで、言語活動の充実につながるよう配慮されている。 ○ 生徒の興味・関心に応じて、積極的に学習を進めることができるよう、発展的な学習の内容が「発展」マークで明示されている。また、「つくってみよう」、「やってみよう」では生徒が自主的に取り組むことができる題材例が提示されている。 ○ 各内容が「つくって・育てて学ぼう」「じっくり学ぼう」「学びを深め生かそう」の三つのステップで構成されており、生徒が興味を持続させながら、実践的・体験的な学習活動を進め、学んだことをまとめられる構成となっている。また、基礎技能の定着を図りやすいように、別冊「技術ハンドブック」にまとめられている。 	<p>P. 12～13 P. 178, 201</p> <p>P. 191 P. 214～217</p> <p>P. ③, 1 技術ハンドブック</p>
9 開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のまとめり(小項目)ごとに「学習の目標」が示されており、生徒が学習のめあてをつかみやすくしている。また、「ふり返り」の欄や各章末の「学習のまとめ」により、項目や章ごとにまとめや自己評価ができるように配慮されている。 ○ 「参考」の欄にその項目の学習内容と関連する事項が示されたり、巻末資料にコンピュータの基本操作が掲載されたりしており、生徒の自主的な学習を促す内容となっている。 ○ 各内容とも「問題解決の流れ」が具体的に示され、生徒が効果的に学習を進めるために適切な配列になっている。また、「豆知識」で内容を補う説明や、日常生活に役立つ知識が紹介されており、学習したことをさらに深めることができるようになっている。 	<p>P. 22～25 P. 92～93</p> <p>P. 13 P. 270～279</p> <p>P. 44～45 P. 178～179</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科 技術・家庭 種目 技術・家庭(家庭分野)

【岡山市の子どもの課題】

- ① これからの生活を展望して、学習内容を実生活と関連付けたり、既存の知識や技能を用いて課題を解決したりすること。
 ② 日常生活を振り返り問題を見いだしたり、学習内容と実体験を結び付けて理解したりすること。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
2 東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他教科との関連をマークと簡単な説明で分かりやすく示すだけでなく、QRコードを使って他教科の教科書の内容をインターネットで確認できるようになっている。また、献立で調理する場合の手順例や配膳例などが紹介されており、生活の自立につながるよう工夫されている。 ○ 各内容の最後の「学習のまとめ」に「生活に生かそう」の項目があり、習得した知識や技術を実生活で活用できるようになっている。また、巻末に「防災・減災手帳」や「子どもの視覚体験眼鏡」が付録となっており、生徒が自主的に学習に取り組むことができるようになっている。 ○ 「自分の生活をチェックしよう」は、学年ごとに自分の生活の課題などが確認できるようになっており、同じページで3年間の成長を比べられるよう工夫されている。また、巻末の「言葉のページ」で衣食住に関する生活用語が解説されており、実生活と学習を関連付けることができるよう配慮されている。 	<p>P. 75, 166, 291</p> <p>P. 100～101 巻末</p> <p>P. 12～13 P. 286～287</p>
6 教 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 野菜のいろいろな切り方や調理器具の名称、おもな加熱調理の種類と方法などの基本的な内容や「暮らしの中のマーク・ラベル」が、写真などを用いて分かりやすく示されている。 ○ 災害時の調理例や非常食、非常時の衣服の備えや洗濯に関するコラムがあり、災害時の対応について生徒が関心をもつことができるよう配慮されている。 ○ 冒頭の「自立度チェック」や親しみやすいイラストで生徒が学習内容に興味をもつための工夫がされている。また、「比べてみよう」のコーナーで、市販加工品（レトルト食品や冷凍食品、缶詰など）を取り上げ、手作りの料理と比較したり、用途に応じた食品の選択を考えたりすることで日常生活での実践につなぐ工夫がされている。 	<p>P. 114 P. 116～117 P. 120 巻末</p> <p>P. 149, 185</p> <p>P. 12～13 P. 127, 135</p>
9 開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒同士や家族、身近な人たちと意見を交換できるようにするために「話し合ってみよう」「発表しよう」という演習が設けられており、資料を活用して話し合うことで、自らの考えを広げ、深められるよう工夫されている。 ○ SDGsの視点がガイダンスに示されており、全ての内容で関連付けられているとともに、身近なことから家庭生活について考えることができるよう工夫されている。また、和服について、ゆかたの着方とたたみ方に加え、帯の結び方、洋服との比較図を紹介するなど、日本と世界の文化について興味をもたせ、理解を深めることができるようになっている。 ○ 目次の実験や実習の例が詳しく示されており、興味をもちやすいよう工夫されている。また、「豆知識」や「memo」のコーナーで、内容を補う説明や、日常生活に役立つ知識が紹介されており、学習を効果的に進めることができるようになっている。 	<p>P. 19, 36</p> <p>P. 7, 64 P. 152, 262 P. 166～169</p> <p>巻頭 P. 1, 16, 21</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科 (外国語) 種目 (英語)

【岡山市の子どもの課題】

- ① ある程度の長さの英語を読んだり聞いたりして、必要な情報を得たり、概要を捉えたりすることに課題がある。
- ② 定型表現を使って話したり書いたりすることはできるが、自分の考えや意見をその場で表現したり、表やグラフ等の情報を活用して表現したりすることに課題がある。
- ③ 語彙や基本的な表現の定着が不十分であるため、話したり書いたりする際に自信をもって表現することに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
2 東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習した知識・技能を統合的に活用できるよう、「Mini Activity」→「Unit Activity」→「Stage Activity」という順で、表現活動を系統的に積み上げる工夫がなされている。 ○ 第3学年のUnit 2では、英語で俳句を作ったり、食物連鎖を説明し生態系に起きている問題について表現したりする活動が設定されており、他教科との関連が図られている。 ○ 各Unitに「Grammar for Communication」があり、文法の内容を理解するための豊富な図解や、場面や文脈を意識した確認問題が示され、生徒が家庭で自主的に学習できるよう工夫されている。 	<p>1年 P. 91, 93 P. 96~97</p> <p>2年 P. 75, 80 P. 96~97</p> <p>3年 P. 26, 33</p> <p>1年 P. 86 2年 P. 116 3年 P. 82~83</p>
9 開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各プログラムの最初に位置付けられた「Scenes」では、対話形式になったイラストが掲載されており、学習する新出事項や状況設定が視覚的に理解できるよう工夫されている。 ○ チョコレート産業に隠された児童労働の実態や映画「世界の果ての通学路(ケニア)」を取り上げ紹介することで他国に関心を持ち、国際社会への貢献や平和に寄与する態度を養う内容となっている。 ○ 各プログラムの始めの「とびら」にゴールを示すことで学習の見通しをもち、最終的に「Our Project」(協働学習)に取り組むという形式で構成されることで、学習を効果的に進めることができるようになっている。 	<p>1年 P. 96 2年 P. 18 3年 P. 20</p> <p>1年 P. 69~73 3年 P. 63~69</p> <p>1年 P. 125~129 2年 P. 79~83 3年 P. 39~43</p>
15 三 省 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「Reading for Information」では、ちらしや地図等から読み取った情報をもとに、英語で実践的なやりとりができるよう工夫されており、言語活動の充実が図られる内容となっている。 ○ 「Take Action!」では、実生活でよくある場面を想定した活動が取り入れられており、生徒が学んだことを活用することができるよう工夫されている。 ○ 風呂敷や花火大会など日本の伝統文化に加え、マンガやアニメなどの現代文化も扱っており、日本のことを英語で発信しやすい内容となっている。 	<p>1年 P. 109 2年 P. 65 3年 P. 68</p> <p>1年 P. 136~137 3年 P. 46~47</p> <p>1年 P. 97~103 3年 P. 51~59</p>

17 教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 温暖化など地球の環境問題やゴミ処理の問題、動物との共存やドギーバッグ（食品ロス）の取組などについて考えをまとめる題材が取り上げられており、生徒が国際的な課題について意識できるようになっている。 ○ 各単元末では振り返るポイントが三つ示されており、生徒自身が達成できたことを確認した上で、自主的な学習に取り組むことができるようになっている。 ○ 「Activities Plus」では赤いマスキングシートを活用して、単語や基本的な表現の定着を図ったり、「Think & Try!」では、学習した本文の一部をそのまま利用しながら、生徒自身の考えを少し加えて話したり書いたりする表現活動を行えるよう工夫されている。 	<p>1年P. 111～118 3年P. 82～89</p> <p>1年P. 95 2年P. 103 3年P. 65</p> <p>1年P. 92～93 2年P. 129～147 3年P. 121～140</p>
38 光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「Earthquake Drill」では、防災訓練を取り扱い、防災バッグに何を入れるか考える活動があり、実生活の場面への活用が図られている。 ○ 連続性をもたせたストーリー構成により、生徒が積極的に続きを読もうとするように工夫されている。 ○ 英語を聞いてその内容を自分の言葉で話す「Story Retelling」や、テーマに沿った身近な話題を英語でやり取りするための力を育む「Let's Talk」が巻末に帯活動として設けられている。 	<p>2年P. 68～71</p> <p>2年P. 22, 24 3年P. 104, 119</p> <p>各学年巻末 1年P. 136～143 2年P. 128～135 3年P. 112～119</p>
61 啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第2学年より単元ごとに収録されている「Express Yourself」では、単元のテーマに沿ったミニスピーチをつくり、やり取りや発表につなげることができるようになっている。 ○ 東日本大震災の被災者を勇気付けた「アンパンマンのマーチ」を作詞したやなせたかし氏や、盲目の折り紙作家である加藤三郎氏を題材に取り上げることで、日本人の生き方について考えられるようになっている。 ○ 各学期末に配置されている「Project」では、それぞれの学期で学んだことを統合して「自己紹介」「インタビュー」「日記」など、さまざまな表現活動に取り組むことができるようになっている。 	<p>2年P. 70 3年P. 72</p> <p>2年P. 17 3年P. 100～104</p> <p>1年P. 53, 91 P. 115 3年P. 46, 90</p>

【岡山市の子どもの課題】

- ① 道徳的価値についての理解を基に、自分との関わりで考え、自分の考えを表現することに課題がある。
- ② 実際の場面において、自分で判断し道徳的行為に結び付けたり、自分から他の人に関わろうとしたりすることに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
2 東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳の授業はこんな時間に」では、司会カードを使ったり、心情円を使ったりするなど、道徳科の学習について具体的なイメージをもって、1年間取り組むことで、道徳的価値の理解につながるようになっている。 ○ 全学年に「いじめ問題対応ユニット」と「生命尊重ユニット」が配置されており、それぞれ三つの教材を連続してじっくり学ぶことで、道徳的価値を多面的・多角的に捉えられるよう工夫されている。 ○ 巻末の切り取り教材「心情円」を活用し、生徒が自他の受け止め方の違いに視覚的にも気付きやすくすることで、積極的に話し合いに参加することができるように工夫されている。 	<p>1年 P. 3～6 2年 P. 3～6</p> <p>1年 P. 21～32 2年 P. 23～33 3年 P. 71～81</p> <p>全学年巻末</p>
17 教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教材の題名の下に、教材を通してどのようなことを考えていくのか意識付ける問いが導入として設定され、生徒が見通しをもって学習に取り組むことで、道徳的価値の理解につなげることができるようになっている。 ○ いじめや差別のない社会について深く考えるユニットでは、いじめや差別について複数の視点で考えられたり、マンガや絵本を取り入れて自分との関わりで捉えることができるようになりしており、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。 ○ 「まなびリンク」マークが示されているページは、巻頭のQRコードから専用のウェブサイトへアクセスして、リンク先の情報を活用できるようになっており、知識を深めたり視野を広げたりすることができるよう工夫されている。 	<p>1年 P. 34 2年 P. 132 3年 P. 150</p> <p>1年 P. 40～63 2年 P. 90～103 3年 P. 32～49</p> <p>1年 P. 85 2年 P. 25 3年 P. 27</p>
38 光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「見方を変えて」では、中心となる発問と視点を変えた問いが設定されるとともに、「広げよう」では、人間関係作りや国際理解などの教材と関連付いた多様な内容が取り上げられ、生徒が多面的・多角的な見方や考え方ができるように工夫されている。 ○ 教材末の「つなげよう」は、教材を通して学んだことを他教科や日常生活につなげたり、探究的な活動を促したりできるように工夫されている。また、「見方を変えて」と合わせて考えることで、学びを深めることができるようになっている。 ○ 教材末の「考えよう」では、教材を通して何を学ぶのかを意識できるようにめあてが明示され、生徒がねらいとする道徳的価値を意識しながら学習に取り組むことができるようになっている。 	<p>1年 P. 121, 177 2年 P. 25 3年 P. 76</p> <p>1年 P. 116 2年 P. 46 3年 P. 107</p> <p>1年 P. 131 2年 P. 58 3年 P. 149</p>

116 日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材の導入部分に、学習する道徳的価値のキーワードが示されたり、登場人物の挿絵が示されたりしており、生徒の道徳的価値の理解につながるようになっている。 ○ 「道徳ノート」には、友達の見解や話し合いをメモする欄が設けられ、自分の考えを深めたり、話し合い活動を通して考えを広げたりすることで、多面的・多角的な見方や考え方ができるようになっている。 ○ 「プラットホーム」には、学習内容に関係のあるマンガのセリフや先人の紹介などがされており、生徒の考えや視野を広げることができるようになっている。 	<p>1年 P. 164 2年 P. 98 3年 P. 44</p> <p>道徳ノート 1年 P. 11 2年 P. 18 3年 P. 21</p> <p>1年 P. 12～13 2年 P. 84～85 3年 P. 144～145</p>
224 学 研	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニットや教材の導入部に入れられたフレーズにより、生徒がその教材に興味をもち、見通しをもって学習に取り組むことで、道徳的価値について理解を深めることができるようになっている。 ○ 「クローズアップ」や「クローズアップ+プラス」には、教材に関連した補足資料が取り上げられており、生徒が自分との関わりの中で内容にじっくりと向き合ったり、多面的・多角的な見方や考え方をしたりすることができる工夫がされている。また、「深めよう」では、考えを深めるステップや、役割演技について示されており、グループでの学習を通して、自分の考えを深めたり、広げたりできるようになっている。 ○ SDGs（持続可能な開発目標）とキャリア教育については、全学年でユニット学習となっており、視点や内容の異なる複数の教材を関連させ、広い視野で考えることができるよう工夫されている。 	<p>1年 P. 50 2年 P. 94 3年 P. 68</p> <p>1年 P. 153 2年 P. 107 3年 P. 61, 179</p> <p>1年 P. 74～85 2年 P. 50～61 3年 P. 72～83</p>
232 廣 あ か つ き	<ul style="list-style-type: none"> ○ 魅力あふれる人物の生き方から学ぶ教材が充実していたり、問題解決的な学習や体験的な学習を促す教材が位置付けられたりしており、生徒が教材を基にねらいとする道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。 ○ 別冊ノートには、本冊の学習内容に関連した読み物資料や詩などが用意されており、実生活の場面との関わりについて考えたり、本冊で学んだ価値の理解をより深めたりすることができるようになっている。 ○ 全学年に3編の「thinking」のコーナーや、「いじめ」「情報モラル」「持続可能な社会」についての特集ページが設けられ、補充的な学習や自主的な学習につながるようになっている。 	<p>1年 P. 140～147 2年 P. 17～19 3年 P. 96～101</p> <p>別冊ノート 3年 P. 7 本冊 3年 P. 41～43</p> <p>1年 P. 99 2年 P. 158～163 3年 P. 53</p>
233 日 科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材末の「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」には、複数の問いが設定されており、道徳的価値や実生活での自分の在り方について考え、さらに深めることができるように工夫されている。 ○ ものの見方や考え方を広げる教材や障害者差別解消法に関する教材が取り上げられており、学習活動を通して、自ら考えたり多面的・多角的な見方や考え方ができたりするように工夫されている。 ○ 教材が学習指導要領に示された四つの視点に対応し、内容項目順に配置されているため、生徒が何について学んでいるのかを意識しながら学習に取り組むことができるようになっている。 	<p>1年 P. 119 2年 P. 20 3年 P. 129</p> <p>1年 P. 70～71 2年 P. 96～97 3年 P. 88～91</p> <p>各学年目次</p>

